

あ・し・た

いする

んじる

のしむ

第12号



発行元：宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会

TEL：0940-37-4100(宗像市ボランティアセンター)

全体研修会

『盲導犬講座』



昨年11月21日(火)メイトム宗像・結工房にてボランティアセンターのボランティア入門講座と共催で『盲導犬講座』を実施しました。当日の受講者は26人でした。

講師の相浦和枝さんは、視覚に障害がありながらも直方市でラジオパーソナリティをされていて、明るい表情と穏やかな口調が印象的な方です。

ニック君を毎日30分以上ふきあげブラッシングをして清潔にしているが、入店拒否や乗車拒否に幾度となく遭っていること、盲導犬はカーナビではないのでどこにでも連れて行ってくれるわけではなく、道に迷うこともあること、犬が好きだから一緒にいられる喜びがあることなど、お話をいただきました。



相浦さん(中央)と盲導犬 NICK(ニック)君

参加者からは「盲導犬の日常や一生を知ることができた」「ニック君の歩く姿がかわいかった」「実際に盲導犬を見るのもユーザーさんのお話を聞くのも初めてで勉強になった」「最後の息子さんの感謝の言葉に涙が出た」などの意見が寄せられました。

ボラ連の新しい仲間をご紹介します

『宗像音楽倶楽部 ふれあい』

閉じこもりがちな高齢者や身障者の方々が音楽活動に参加できるように、支援者と共に年1回以上の演奏会を開いています。また、会員相互の親睦を深めたり、新しい出会いや他者との交流機会を増やしています。音楽の力で感動や笑いなど市民の心身の健康づくりや、生活の向上につなげることを目指しています。

週1回程度の音楽練習、音楽鑑賞、音楽づくり、勉強会などもおこなっております。福祉施設への訪問演奏、地域イベントへの参加、障害のある人とのふれあい、演奏介助も行っており、宗像市外へも対応しています。



宗像音楽倶楽部 ふれあいの皆さん

今年も参加してきました！

“きずな” フェスティバル

毎年2月の第3日曜日に開催される“きずな”フェスティバルは、今年から実行委員会の体制が少し変わりました。筑紫女学園大学教授の山崎安則さんを中心に学生ボランティアが活躍しました。

基調講演では、大阪ボランティア協会の早瀬昇理事長が「ボランティアの『いま』と『これから』」というテーマでお話しされました。



関西弁で引き込まれるお話 早瀬昇 講師

コロナ禍でボランティア活動が減ったり、高齢者中心のボランティア団体は活動が難しくなったりしています。

「これからは、参加者をお客様にせず、少しの時間だけでも主体的に活動に参加できるように工夫し、皆が地域作りの担い手になれるようにしていきましょう。ボランティアだからこそ自由に気軽につながり合えるという点を大切にしましょう。」という話を聞いてボランティア活動の良さを再確認しました。



分科会は、①「子ども食堂」と「とうほう百貨店」についての報告、②義足レディ櫻たかこさんによる前向きに生きることのお話、③筑紫女学園大学、九州産業大学、福岡大学の学生たちと地域との連携の活動報告でした。

ボラ連 40 周年記念事業

昭和60年（1985年）バブル期まっただ中、「ボランティア団体の横のつながりを強くし、福祉のまちづくりに貢献したい！」という思いから発足したボラ連。

1995年の阪神淡路大震災を機に一気にボランティアが注目されるようになりました。今では、福祉分野以外にも多方面で活動が広がり、1998年にはNPO法が施行され市民の自由な社会貢献活動として認知されてきました。

私たちボラ連は、社会福祉協議会からの支援のもと、福祉活動に特化した団体同士のつながりを大切にしています。いっしょに助け合う精神が40年続いてきました。

40年は通過点にすぎませんが、この節目に記念事業を行うことになりました。内容につきましては、みなさんからのたくさんの意見を参考にしながら、運営推進委員会にて企画中です。

令和6年10月27日(日)を予定しています。みなさん、どうぞお楽しみに！



第40回ボラ連総会のお知らせ



今年度のボラ連総会は、4月24日（水）午後1：30より、メイトム宗像202会議室にて開催いたします。終了後には交流会を予定しています。昨年と同じく対面式での総会になりますので、みなさまどうぞご参加ください。よろしくお願いたします。